平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場会社名　大和自動車交通株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9082　URL　http://www.daiwaj.com/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 新倉　能文
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 加藤　雄二郎　TEL 03-6757-7164

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,249	△0.2	153	△42.9	53	△72.1	△184	―
25年3月期第1四半期	4,258	2.0	269	30.0	192	60.8	116	△92.2

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　△162百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　91百万円　(△93.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△18.50	―
25年3月期第1四半期	11.66	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	19,455	3,131	15.8	309.14
25年3月期	17,488	3,309	18.6	326.99

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　3,081百万円　25年3月期　3,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	1.50	―	1.50	3.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		1.50	―	1.50	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	△0.1	350	△27.0	150	△26.7	△420	―	△42.13
通期	17,500	1.5	800	10.6	400	14.6	3,400	―	341.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	10,500,000 株	25年3月期	10,500,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	530,456 株	25年3月期	530,456 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	9,969,544 株	25年3月期1Q	9,970,795 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 ……6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 ……7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……8
(継続企業の前提に関する注記) ……8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……8
(セグメント情報等) ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による大胆な金融緩和政策により市場での期待感から株高・円安基調となり、一部に景気回復の兆候が見受けられたりもしましたが、実体経済への波及の動きは鈍く、また円安による輸入価格の上昇などの影響を受け不透明な中で推移しました。

ハイヤー・タクシー業界におきましても、法人及び個人の利用減少が続く厳しい環境のもとにありました。このような情勢のもと、タクシー部門は業務提携契約を締結した中央無線タクシー協同組合加盟24社を合わせた大和自動車交通グループ2,484台の車両が当社の商標（マーク等）を使用して運行しており、お客様の利便性の向上と、提携各社との相互の発展を目指しております。

また、東京23区と武蔵野市、三鷹市で利用可能なGPS機能を活用した「スマホ配車」を開始し、自動配車受付システム（ＩＶＲ）と合わせて迅速な自動配車を行っております。

当第１四半期連結累計期間の売上高は4,249百万円と前年同四半期比0.2％の減収となり、経費面において賃貸不動産の増加による固定資産減価償却費の増加や乗務員募集活動に係る宣伝広告費の増加もあり、全部門における業務の効率化をはかりましたが、営業利益は153百万円（前年同四半期比42.9％減）、経常利益は53百万円（前年同四半期比72.1％減）となりました。平成26年３月に引渡しを予定しております固定資産（中央大和ビル）の解体費用345百万円を固定資産撤去費用引当金繰入額として特別損失に計上した結果、四半期純損失は184百万円（前年同四半期は四半期純利益116百万円）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①旅客自動車運送事業

旅客自動車運送事業では、ハイヤー売上高は得意先企業の経費節減と他社との低価格競争の影響により、タクシー売上高は乗務員の営業指導を継続して実施し収益向上をはかっておりますが、乗務員不足による稼動率の低下が続き、旅客自動車運送事業売上高は3,106百万円（前年同四半期比1.3％減）、営業利益は136百万円（前年同四半期比18.5%減）となりました。

②不動産事業

不動産事業では、平成25年３月名古路木場ビル（江東区木場）、平成25年４月藤和東神田ビル（千代田区東神田）、平成25年５月ヒルサイドスクウェアビル（豊島区高田）と事業用収益物件を購入し、売上高に寄与いたしましたが、取得に伴う経費等を計上した結果、不動産事業売上高は173百万円（前年同四半期比43.2％増）、営業損失は47百万円（前年同四半期は営業損失9百万円）となりました。

なお、不動産事業におきましては、上記の他、平成25年７月アルテビル東神田Ⅱ（千代田区東神田）、平成25年８月メゾン大島イースト（江東区大島）を購入しており、不動産事業の強化と更なる収益の増強を進めております。

③販売事業

自動車燃料販売部門では、タクシー業界の減車等の影響を受け販売数量が減少する中で、人件費や諸経費の削減に努めるとともに、顧客へのきめ細かいサービスの提供を推進しております。金属製品製造販売部門は、生産効率向上効果とともに、ＩＳＯ9001を継続取得し製品の品質向上を進めておりますが、原材料価格の上昇もあり、販売事業売上高は969百万円（前年同四半期比1.9％減）、営業利益は65百万円（前年同四半期比40.8％減）となりました。

（注）売上高に消費税等は含まれておりません。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間の総資産は19,455百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,966百万円の増加となりました。これは現金及び預金が261百万円、流動資産「その他」に含まれる未収入金が162百万円それぞれ減少するなどの結果、流動資産が320百万円減少したものの、土地が1,208百万円、建物及び構築物が877百万円それぞれ増加するなどの結果、固定資産が2,287百万円増加したことによるものであります。

また負債は前連結会計年度末に比べ2,144百万円増加の16,323百万円となりました。これは短期借入金が1,327百万円増加するなどの結果、流動負債が1,486百万円増加したことと、長期借入金が541百万円増加するなどの結果、固定負債が658百万円増加したことによるものであります。

純資産は四半期純損失184百万円を計上した影響から、前連結会計年度末に比べ177百万円減少の3,131百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の18.6％から15.8％に減少しております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

法人および個人の利用減少など、当社グループの経営環境は引き続き厳しいものが予想されますが、現時点では平成25年５月15日発表の業績予想について変更はいたしません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,326	2,064
受取手形及び売掛金	1,448	1,390
有価証券	0	0
販売用不動産	3	3
商品及び製品	33	29
仕掛品	2	0
原材料及び貯蔵品	40	40
その他	797	803
貸倒引当金	△27	△28
流動資産合計	4,625	4,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,870	4,748
土地	6,758	7,966
建設仮勘定	―	17
その他（純額）	1,565	1,626
有形固定資産合計	12,194	14,359
無形固定資産		
その他	19	20
無形固定資産合計	19	20
投資その他の資産		
その他	763	884
貸倒引当金	△114	△114
投資その他の資産合計	649	770
固定資産合計	12,862	15,150
資産合計	17,488	19,455
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	754	655
短期借入金	2,477	3,805
未払法人税等	210	154
賞与引当金	86	30
固定資産撤去費用引当金	―	345
その他	2,190	2,215
流動負債合計	5,720	7,207
固定負債		
社債	25	20
長期借入金	5,766	6,308
退職給付引当金	839	879
役員退職慰労引当金	94	96
資産除去債務	222	222
負ののれん	0	0
その他	1,510	1,588
固定負債合計	8,458	9,116
負債合計	14,178	16,323

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	525	525
資本剰余金	2	2
利益剰余金	2,961	2,761
自己株式	△264	△264
株主資本合計	3,224	3,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	57
その他の包括利益累計額合計	35	57
少数株主持分	49	49
純資産合計	3,309	3,131
負債純資産合計	17,488	19,455

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	4,258	4,249
売上原価	3,708	3,834
売上総利益	549	415
販売費及び一般管理費	280	261
営業利益	269	153
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	4
負ののれん償却額	0	0
受取車検費用	3	1
その他	5	8
営業外収益合計	14	15
営業外費用		
支払利息	47	54
退職給付会計基準変更時差異の処理額	38	38
その他	5	21
営業外費用合計	90	114
経常利益	192	53
特別損失		
固定資産除却損	0	5
固定資産売却損	1	－
固定資産撤去費用引当金繰入額	－	345
特別損失合計	1	351
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	190	△297
法人税、住民税及び事業税	45	28
法人税等調整額	29	△141
法人税等合計	74	△113
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	115	△184
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△0	0
四半期純利益又は四半期純損失（△）	116	△184

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	115	△184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	21
その他の包括利益合計	△23	21
四半期包括利益	91	△162
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	92	△163
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	旅客自動車運送事業	不動産事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,149	121	988	4,258	－	4,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	15	303	330	△330	－
計	3,160	136	1,292	4,589	△330	4,258
セグメント利益又は損失（△）	167	△9	110	268	0	269

（注）１　調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	旅客自動車運送事業	不動産事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,106	173	969	4,249	－	4,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	66	263	337	△337	－
計	3,113	240	1,233	4,587	△337	4,249
セグメント利益又は損失(△)	136	△47	65	154	△0	153

(注)１　調整額の区分は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。
　　２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。